

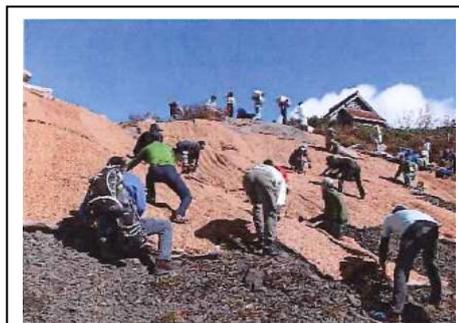
平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--|
| 事業名 | 八方尾根植生回復及び高山植物保護事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 八方尾根自然環境保全協議会 長野県北安曇郡白馬村北城 5732-2 TEL0261-72-2477 |
| 事業区分 | ソフト |
| 事業タイプ | (5)環境保全及び景観形成事業 |
| 総事業費 | 2,266,992 円 (うち支援金 : 1,502,000 円) |

事業内容

八方尾根植生回復事業は、9/20のヘリ荷揚げ前に平川ヘリポートにて80梱包の高熱処理された、グリーンフォーマット等の資材梱包作業を行い、八方第2ケルン下方南斜面の裸地化した箇所400㎡にグリーンフォーマットを隙間がないよう敷き詰め、グリーンパトロールが採取した高山植物の種子を播種した。

ネイチャーラベル設置作業は、昨年長野県希少野生動植物に指定された八方尾根「ゴマシジミ」のネイチャーラベルも高山植物と共に作成し、食草とするワレモコウ、カライトソウのラベルと併設し、ゴマシジミの保護啓蒙をし、併せてネイチャーラベル30枚を設置した。



【植生作業】

【目標・ねらい】

- ①八方尾根の植生回復
- ②地域住民による継続的保護保全
- ③高山植物の大切さを継承
- ④ゴマシジミの保護

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①八方尾根第2ケルン下方南斜面の、自然研究路より広範囲に裸地化した箇所(400㎡)の植生回復が図られた。
- ②各団体より51名がボランティアとして、八方尾根の植生回復作業に参加し、400㎡の広範囲な作業を優先して取り組む姿に、今後も継続的に行われる事を感じた。
- ③八方尾根の特性が、美しい高山植物を多く自生させ、それらの名や特性を記したネイチャーラベルは多くの登山者に好評を得ている。
- ④八方尾根ゴマシジミについては、県自然保護課より講和いただき、地元住民へも保護意識の向上が図られた。

※自己評価【A】

【理由】

各団体より、多くの参加者が広範囲に亘る植生回復作業に汗し、マット80枚の敷設が出来た。「八方ゴマシジミ」に関して、地元住民への保護意識の向上が出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

八方尾根は、大部分が風化しやすい蛇紋岩の分布域になっているため、今後も継続的な植生回復作業が必要である。また、以前植生回復作業で使用した資材(源五郎ネット)箇所が、植生が根付いていない箇所が数か所あり、それらの箇所に植生回復が見られるグリーンフォーマットへの移行を図ることが重要で、裸地化部分と併せこれからも継続的な植生回復作業が必要となる。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある